

## 高校生が出前講座で流量観測やドローン操作などを体験！

今回は、徳島県立那賀高校の防災クラブの学生が参加する「防災キャンプ」に併せて10月27日（土）に開催した出前講座について紹介します。

出前講座の流れとしては、前半に那賀高校で座学を行い、後半は実際に那賀川に出向いて現地実習を行いました。

座学では、「那賀川流域立体図」等を使用しながら、流域の特徴や洪水被害などについて教室で説明をした後、雨量観測所に設置している雨量計を用意して、どのような仕組みで雨量を観測しているのか、実物を使って説明しました。

次に、学校の直ぐ近くを流れる那賀川まで徒歩で移動し、現地の水質と那賀川の下流及び桑野川の水質を比較する簡易水質調査と、ドローンの操作体験を行いました。



▲空高く飛ぶドローン(左) 水質調査(右上) ドローン操作の説明(右下)



▲グループで考えながら計算中

また、近くの丹生谷橋で実施されている「高水流量観測」も体験してもらうために、1班4名に分かれて浮子の投入、見通しの通過時間の計測、流量の計算を行っていただきました。

今後も、高校などの関係機関と連携を図りながら、防災教育に関する支援を続けていきたいと思っております。